

事業概要報告書

総務委員会

委員長 中里 智博
副委員長 大脇 正夫
副委員長 藏林 裕貴

1. 理事会運営及び議事録の作成

2017年9月第1回理事予定者会議から2018年12月理事会まで計16回の理事会を運営し、議事録の作成をおこなってまいりました。理事会では、事業内容をより良くする多くの議論が交わされました。

経費 12,700円

2. 担当例会の企画、運営（総会3回、理事選挙1回）1・7・9・12月

担当例会を下記の通り開催しました。

2018年1月30日（火）第846回1月第一例会 110回（130回）通常総会 越谷市中央市民会館会議室

2018年7月6日（金）第853回7月第一例会 理事選挙 越谷市中央市民会館会議室

2018年9月3日（月）第855回9月第一例会 111回（131回）通常総会 越谷市中央市民会館会議室

2018年12月7日（金）第858回12月第一例会第112回（132回）通常総会 越谷サンシティ視聴覚室

理事選挙例会では拡大推進会議を実施いたしました。3回行われた通常総会では、厳粛な運営に努めました。

経費 138,692円

3. 理事長選挙の企画、運営

次年度理事長を選出するにあたり、立候補者1名のため、役員候補者に関する規定第3章、次年度理事長候補者の選出に関する規定第12条を適応し、次年度理事長1名を選出しました。よって理事長選挙は実施いたしませんでした。

経費 -円

4. 会員拡大の推進

委員会内で情報の共有をし、懇親会などで積極的に魅力を伝えました。

経費 -円

5. 関係官庁への提出資料の作成及び諸手続き

さいたま地方法務局へ役員変更登記申請を行ない、無事役員変更登記を完了いたしました。

経費 10,600円

6. データストレージの管理

昨年に引き続き、NASの設定代行を株式会社伝助様に依頼しました。

経費 50,000円

7. 広報渉外委員会との連携

ハンドブックやもとあらかわの作成にあたり、資料の共有をしました。

経費 -円

8. ホームページやSNSを利用した情報発信

対内的な事業の例会運営であった為、情報発信を積極的に実施できませんでした。

経費 -円

広報渉外委員会

委員長 大野 聡史
副委員長 富田 普介
副委員長 端 雄一

1. 担当例会の企画、運営（周年式典前段での講演会）

2018年6月16日（土曜日）越谷コミュニティセンター小ホールにて第851回例会6月第一例会を開催致しました。里崎氏の戦略的な魅力アピールの方法や貪欲なアピールの姿勢、丁寧なファン対応には学ぶところが大変多くありました。動員数316名

経費 987,536 円

2. 周年広報誌の発刊

株式会社三和システムフォーム様のご協力を頂き創立45周年の広報誌を作成し式典参加者及び正会員、OB諸兄、OG諸姉へ配布しました。

経費 749,026 円

3. ハンドブックの作成

吉川印刷様のご協力のもと作成し現役会員及びOB諸兄、OG諸姉に配布致しました。

経費 594,000 円

4. 一般向けホームページの改定、更新、管理、編集

事業に関してホームページに投稿し事前告知や報告等を行いました。

経費 200,000 円

5. 会員拡大の推進

オブザーバー情報を紹介できましたが拡大には至りませんでした。

経費 -円

6. 総務委員会との連携

お互いの担当例会において人員不足の保管に努めました。

経費 -円

7. ホームページやSNSを利用した情報発信

担当例会で開催した事業に関して開催告知をホームページとSNS等で行い事業への参加募集を行いました。

経費 -円

8. 各種メディア（報道機関、新聞社等）との連携

情報発信は各担当委員会が行い、当委員会では積極的に実地しませんでした。

経費 -円

9. もとあらかわの発行

理事長、次年度理事長、卒業生、新入会員からあいさつ文を頂き発行しました。

経費 100,000 円

周年事業委員会

委員長 中村 直弘
副委員長 小林 仁
副委員長 酒匂 良平

1. 担当例会の企画、運営（大人と子どもがつながりを持てる事業）4月

4月21日（土）、越谷市中央市民会館にて、『未来の主役の君たちへ～ブロックでまちへの思いを語ろう～』を開催しました。小中学生の主権者意識を育むことを目的とし、意見を引き出すことやグループの信頼関係を醸成することに優れた手法（レゴシリアスプレイ）を取り入れ、資格を持ったファシリテーターによる進行のもと、まち（越谷市）への思いを語るワークショップを開催しました。アンケート結果から、地域の課題や将来に関心を持ち、家族や友だちと話してみたいと思うまでは目的を達成できました。しかし、選挙や政策という直接的に政治に結びつく話題への関心については、成果を出すまでには至りませんでした。事業の成果をもとに提言書を作成し、11月22日（木）に越谷市長へ提出しました。

経費 292,382円

2. 担当例会の企画、運営（45周年事業）8月

8月5日、イオンレイクタウン kaze 翼の広場にて、『地域ブランド創出プロジェクト～みんなでつくろうバスケのまち～』を開催しました。5人制バスケのプロチーム越谷アルファーズと、オリンピック種目になった3人制バスケ（3×3）を中心に事業を組み立て、越谷市がバスケのまちであること、これから一層その特徴が強くなることを、バスケットボールに関心の無い人にも広く周知できました。アンケートでは多数の方が関心を持ったと回答したことから、目的は概ね達成できたと考えます。事業後、「バスケで越谷を盛り上げる委員会」を外部に立上げ、2020年度に3×3プロチームを立ち上げることを目標に活動することとしました。

経費 2,252,308円

3. 公開委員会の企画、運営（周年式典委員会と合同）

11月22日、越谷市立総合体育館にて、周年室公開委員会「第1回越谷JC運動会」を周年式典委員会と合同で開催しました。団体競技に重きを置いた紅白戦を通してチームが一致団結することにより、メンバー同士の強い絆の形成ができました。

経費 52,438円

4. 会員拡大の推進

7月に入会した後藤健二君を承認までフォローしました。また、委員会メンバーの知り合い、担当例会に関わって頂いた団体や個人から、オブザーバー情報を提供しました。

経費 -円

5. 各種メディア（報道機関、新聞社等）との連携

4月例会では、地域新聞社に記事を投稿して頂きました。

経費 -円

6. 周年式典委員会との連携

お互いの担当例会、及び、合同で実施した公開委員会で連携、協力しました。

経費 -円

7. ホームページやSNSを利用した情報の発信

例会の事業告知、開催報告をホームページとFacebookへ投稿しました。

経費 -円

8. その他

経費 -円

周年式典委員会

委員長 春山 祐一郎
副委員長 佐藤 航一
副委員長 染谷 健太郎

1. 担当例会の企画、運営（新春賀詞交歓会）

2月16日にベルヴィギヤザホールにて第847回例会2月第一例会「新春賀詞交歓会」を開催しました。本年度の方向性と当会議所が45周年であることを周知し、市内各諸団体との親睦を深めました。

経費 332,590 円

2. 担当例会の企画、運営（45周年記念式典）

6月16日にサンシティ越谷市民ホール（小ホール）にて第852回例会6月第二例会「創立45周年記念式典」を開催しました。市内各諸団体や県内JC、姉妹JC、越谷JCOB諸兄弟をお招きして感謝の意を表し、40周年から5年間の活動を報告しました。式典終了後にはポルティコホールに移動し祝賀会を開催しました。

経費 1,949,933 円

3. 公開委員会の企画、運営（周年事業委員会と合同）

11月22日に越谷市立総合体育館第一体育館にて周年事業委員会と合同で、周年室公開委員会として「第1回越谷JC運動会」を開催しました。当日はメンバーが紅白に別れ、対抗戦形式で勝利に向かって一致団結することにより、メンバー同士の強い絆の形成ができました。

経費 52,438 円

4. 会員拡大の推進

二名のオブザーバーを紹介し、例会には数回参加して頂きましたが入会には至りませんでした。

経費 -円

5. 各種メディア（報道機関、新聞社）との連携

担当例会の性質上、メディアとの連携は特にありませんでした。

経費 -円

6. 周年事業委員会との連携

お互いの例会では自分たちの例会のつもりで連携し、時には合同委員会を開催して委員会の垣根を越えて意見を出し合い、11月の公開委員会を構築しました。

経費 -円

7. ホームページやSNSを利用した情報発信

例会事業の様子や報告をホームページやFacebookに掲載しました。

経費 -円

8. その他

経費 -円

拡大アカデミー委員会

委員長 荒井 卓也
副委員長 高橋 志保
副委員長 高橋 徹

1. 15名以上の会員拡大

2018年度、13名の会員拡大を致しました。

経費 97,346 円

2. 担当例会の企画・運営

平成30年12月14日（金）第859回例会12月第二例会「卒業式」を開催致しました。ギャザホールにて行い、新入会員を中心に設営・運営をし、9名の卒業生を盛大に送り出すことが出来ました。

経費 212,914 円

3. 公開委員会の企画・運営

平成30年9月1日（土）公開委員会「LOM100%熱闘越谷JC」を開催致しました。当日は野球を楽しみ、絆を深めました。また、当日の撮影の他、各メンバーの職場訪問を行い新入会員とメンバーとの交流を深め、動画制作を行いました。動画は、今後、越谷青年会議所のPRとして使われます。

経費 90,656 円

4. 新入会員へのオリエンテーション

随時、新入会員へのオリエンテーションを行いました。新入会員の参加しやすい雰囲気づくりに努めました。

経費 -円

5. ジャガイモ大会の開催

10月19日（金）に開催いたしました。当日は多くのOB諸兄、現役メンバー、新入会員と共に盛大に盛り上がり、交流を深めました。

経費 -円

6. 越谷JCアカデミー塾との連携

計12回のアカデミー塾を中村塾長の下、開催いたしました。メンバーのつながり、これからの青年会議所活動へのつながりをつくりました。

経費 -円

7. 青少年育成委員会との連携

お互いの担当例会で協力しました。

経費 -円

8. 各種メディア（報道機関、新聞社等）との連携

事業の性質上、体的に特化させていただきました。

経費 -円

9. ホームページやSNSを利用した情報発信

ホームページ、SNS等を活用し、オブザーバーとの交流や、新規オブザーバー獲得に向けた情報発信を行いました。また、YouTube等を利用し、越谷青年会議所のPRを行いました。

経費 -円

青少年育成委員会

委員長 石川 泰之
副委員長 小林 誠
副委員長 山田 拓

1. 担当例会の企画、運営（わんぱく相撲越谷場所）

5月12日（土）に越谷市立西体育館及び出羽公園越谷市相撲場にて第32回わんぱく相撲越谷場所を開催致しました。当日はメンバーの皆様にご協力いただき大きな事故もなく事業を行うことが出来ました。

参加者 183名

経費 668,559円

2. 担当例会の企画、運営（子ども同士がつながりを持てる事業）

2018年11月10日（土）にしらこぼと運動公園キャンプ場にて第857回例会11月第一例会「ひょっこりJC島～僕らの一日漂流」を開催致しました。初めて会う子どもたち同士が意見を出し合い一つのことを協力して行い助け合いの大事さを学ぶ事が出来ました。

参加者 47名

経費 352,505円

3. わんぱく相撲埼玉ブロック大会への協力

今年は、わんぱく相撲埼玉ブロック大会が埼玉県立武道館で開催致しました。越谷からは6年生河合流君、5年生澤田一輝君、4年生古川音和君が出場しました。結果は9LOM中4位の成績で全国大会出場はできませんでした。

また、ブロック大会開催にあたり、毎月1回の運営会議に参加しました。

経費 -円

4. わんぱく相撲全国大会への協力

全国大会には出場できませんでした。

去年9月のさいたま中央全国大会や、今年1月の京都会議でのわんぱく相撲全国大会のオリエンテーションへ参加しました。

また、わんぱく相撲ホームページよりわんぱく相撲越谷場所の結果報告等行いました。

経費 -円

5. 拡大アカデミー委員会との連携

お互いの担当例会での設営等、連携して準備を進めることが出来ました。

経費 -円

6. ホームページやSNSを利用した情報発信

ホームページやFacebook等でメンバーや一般市民に案内を行いました。

経費 -円

7. 各種メディア（報道機関、新聞社等）との連携

広報こしがやに第32回わんぱく相撲越谷場所の案内を掲載しました。

経費 -円

市民まつり委員会

委員長 飯山 勝司
副委員長 流 岳史
副委員長 柞山 文秀

1. 担当例会の企画、運営（まちと人がつながりを持てる事業）3月

2018年3月25日(日)第848回例会3月第一例会「架け橋～相馬 JC とのつながり～」を実施し、姉妹ROMの相馬青年会議所との親睦を図りました。震災の爪痕の残る相馬の町を見学し、町の防災について語り合うとともに、懇親会では姉妹締結をしているとはいえ、会う機会の少ないフロアメンバー同士で良いコミュニケーションを取ることができました。

経費 461,408 円

2. 担当例会の企画、運営（市民まつり）10月

2018年10月28日(日)第856回例会10月第一例会「第44回越谷市民まつり」を開催しました。2018年度市民まつり委員会の運営テーマ「まつり」らしく、交通安全パレードでは卒業生を神輿で担ぎ、盛大に行進して交通安全をPRすることができました。

経費 48,000 円

3. 越谷市民まつりへの事務局としての協力

全7回の全体会・参画団体担当者会議の開催・運営及び、フリーマーケット説明会を行いました。各団体の準備進行状況を確認し、会議の円滑な運営に努めました。

経費 -円

4. 越谷市民まつり実行委員会への参加、設営、協力

各団体の使用物品の準備・配布やゴミステーションの管理、フリーマーケット出店者への案内を行いました。当日は大きな混乱もなく、第44回越谷市民まつりを開催することができました。

経費 -円

5. 会員拡大の推進

委員会内で情報を共有し、担当例会を通じて越谷青年会議所の魅力が伝わるように努めました。

経費 -円

6. ホームページやSNSを利用した情報発信

ホームページやSNSを使って、第44回越谷市民まつりについての情報を発信し、大変多くの方たちに閲覧して頂くことができました。

経費 -円

7. 各種メディア（報道機関、新聞社等）との連携

広報こしがやで第44回越谷市民まつりについての情報を発信して頂きました。

経費 -円

1. 会員同士がつながりを持てるアカデミー塾の開催

第1回 越谷 JC アカデミー塾 2018年1月24日(水) 19:00~21:30 割烹若松

第1回越谷 JC アカデミー塾を、割烹若松にて開催しました。1回目ということで、年間を通してアカデミー塾で行っていく事業概要の説明、年間スケジュールの確認を行い、毎月開催である旨を周知しました。また、顔合わせの意味も込めて参加者全員による1分間自己紹介を行い、要点を整理して時間内に伝えていくことの大切さを感じてもらおうとともに、参加者同士の親睦を図りながらつながりを持たせました。会員 31名 オブザーバー4名

第2回 越谷 JC アカデミー塾 2018年2月27日(火) 19:00~22:00 万里の長城

第2回では、姉妹 JC である相馬青年会議所とのつながりを学ぶため、当時相馬 JC との関りの深かった、金沢重和先輩、瀧田貴夫先輩、秋山眞樹先輩、大野勉先輩にお越しいただき、居酒屋の青春形式にて開催しました。先輩方より当時のいきさつや交流状況、思い出話などを伝えていただき、市民まつり委員会の3月例会へつなげることが出来ました。会員 34名 オブザーバー5名

第3回 越谷 JC アカデミー塾 2018年3月15日(木) 19:10~21:00 中央市民会館 5F 第8会議室

第3回では、「NEW JAYCEE」という冊子をベースに講義形式にて開催しました。一つ一つに意味があるということを伝えるため、今回から開会のセレモニーも行うようにしました。JC とはどんな団体なのか、目的や三信条、セレモニーの意味合いなど基本的なことから改めて学ぶ機会とし、講義の後には復習テストも行いました。講師を務めることで自分自身でも改めて基本を振り返り、今後の塾につなげていく糧といたしました。会員 24名 オブザーバー4名

第4回 越谷 JC アカデミー塾 2018年4月7日(土) 14:20~17:00 越谷市観光協会 大会議室

第4回では、日本 JC セミナープログラムの一環でもあります「JC ゲーム」を開催しました。ヘッドトレーナーに、とどわらび JC の伊東裕泰君、アシスタントトレーナーに逗子葉山 JC の沼田宏之君にお越しいただき開催させていただきました。1グループ4~5人でわかれ、専用のカードを用いて制限時間内に理事長を目指すカードゲームを二回行い、大野聡史君が理事長までたどり着きました。理事長を輩出するという共通の目標のためにグループ内で課題を洗い出し対策を考え協力し合うことで達成する。JC の根幹を体験できるものでした。また、事業内容を取り上げていただき We Believe にて掲載されました。会員 16名 オブザーバー4名

第5回 越谷 JC アカデミー塾 2018年5月23日(水) 18:30~21:15 砂場 南越谷店

第5回では、11名の先輩方(戸賀崎仁・中島雅樹・石橋伸一・大久保雅章・澤野寛之・久保貴史・横家豪・奥田邦彦・麻王秀一郎・新井健介・橋本哲寿(順不同・敬称略))にお越しいただき、テーマを「委員会」とし、居酒屋の青春形式にて開催しました。多くの委員長経験者の先輩方と交流をはかり、委員会とはどういうものか、委員会の楽しさ、苦労話、醍醐味、達成感、等々経験談をお聞かせいただきました。参加した先輩方からも、来てよかった、また開催してほしい、という言葉いただき、横のつながりだけでなく縦のつながりの一助とすることが出来ました。会員 27名 オブザーバー4名

第6回 越谷 JC アカデミー塾 2018年6月28日(木) 19:00~21:00 中央市民会館 4F 第2会議室

第6回では、熊谷 JC の上林浩太郎君にお越しいただき、「出向」をテーマに講演を行っていただきました。最初の登場から講師の心意気が伝わっており、よくある講演とはまた違った雰囲気でのスタートとなりました。内容的には、JC 運動とは?からはじまり、リーダー論やモテる要素、計画・事業・報告の割合など、テーマにとらわれない自由な講演ではありましたが、その根底には、「自分ではない誰かのために率先して考え、行動に移す「心意気!を持つ」という、上林君の信念を感じるものでありました。会員 26名 オブザーバー3名

第7回 越谷 JC アカデミー塾 2018年7月13日(金) 19:30~21:45 越谷市観光協会 大会議室

第7回では、日本 JC のセミナープログラムの一環でもあります「ロバート議事法セミナー」を開催しました。ヘッドトレーナーに、とどわらび JC の伊東裕泰君、アシスタントトレーナーに逗子葉山 JC の沼田宏之君、相模原 JC の山本久美子君にお越しいただき開催させていただきました。なぜ会議が必要なのかを理解し、ロバート議事法とはどういったものか、JC の基盤となっているロバート議事法を使った理事会を実際にシミュレーションして体験しました。シミュレーションでは次年度の理事予定者に主要な配役として関わっていただき、理事会に出たことがないメンバーも台本に合わせて発言しながら模擬体験していただきました。事業は個人で作るのではなく委員会でそして会として作っていくということを改めて伝えていただきました。会員 25 名

第8回 越谷 JC アカデミー塾 2018年8月21日(火) 19:00~20:30 アイビーボウル越谷

第8回では、レクリエーション的な要素を取り入れ、災害支援にあてたチャリティーボウリングを開催しました。くじ引きでチームを決め対抗戦とし、ルールを設けペナルティには罰金を課させていただきます、それを西日本豪雨災害への支援金に充てさせていただきます。チーム対抗としたことや体を動かす交流ということもあり、チーム間での結束が深まると共に、参加いただいたメンバーの楽しそうな笑顔と、オブザーバーの方にすごく JC に興味を持っていただきました。支援金として、60,142 円が集まり、皆様の多大なるご協力と心意気に感謝いたします。会員 19 名 オブザーバー1 名

第9回 越谷 JC アカデミー塾 2018年9月1日(土) 18:30~20:30 草加健康センター

第9回では、拡大アカデミー委員会の公開委員会後の懇親会に合わせ、草加健康センターにて開催しました。第9回は宴会場での開催ではありましたが、公開委員会で行った野球を一つのテーマとし、メンバーを知らない第三者にメンバーを紹介する、他己紹介という形にて行わせていただきました。なかなか宴会場にての実施は難しい面もありましたが、メンバーの普段では見られない姿を垣間見ることができ、2018 年度終盤にむけての盛り上がり、一体感を醸成する一助としました。会員 26 名

第10回 越谷 JC アカデミー塾 2018年10月11日(木) 19:00~20:50 越谷市観光協会 大会議室

第10回では、穂坂泰先輩(朝霞 JC2012 理事長・2014 埼玉ブロック会長)にお越しいただき、「つながり」~生きるしあわせ、すべてのひとに~のテーマの元、講演を行っていただきました。最初は現衆議院議員の活動内容を固くならないよう笑いも交えてお話しいただき、後半からは、青年会議所の使い方、他ではできない経験をすること、JC を仕事に活かす、社会貢献をする、そして、常にポジティブに考えるなど、成功例や失敗例を交えながら穂坂先輩の歩みをポイントを絞ってお話しいただきました。話し方や聞き手の心のつかみ方も絶妙で、惹き付けられた講演でありました。会員 24 名 オブザーバー1 名

第11回 越谷 JC アカデミー塾 2018年11月30日(金) 19:30~21:15 春日部市民文化会館

第11回では、他 LOM 交流として、春日部の地にて春日部 JC と合同にて開催しました。内容としては、各グループに春日部・越谷メンバーが分かれて入り、自身の LOM の良いと思うところ、または JC の素晴らしいと思うところなどをディスカッションし、双方の LOM の特徴を知るとともに、自身の LOM との違いや相手の LOM の良さを知っていただきました。その後、各グループから春日部・越谷 1 名ずつの代表に、それぞれ 2 分間にて発表していただきました。こうした他 LOM との交流が気付きを生み、JC のつながりを感じさせてくれると改めて実感させていただきました。会員 12 名

第12回 越谷 JC アカデミー塾 2018年12月8日(土) 18:00~21:15 割烹若松

第12回越谷 JC アカデミー塾を、割烹若松にて開催しました。一年を通して毎月開催し、最後の第12回では、一人 2 分間にて一年間の振り返りと総評を行っていただきました。基本的な発表形式は自由でしたが、事前の案内のとおり川柳にてまとめてくれたメンバーもおりました。また感想として、「学びの多い場であった」「成長できた」「JC ゲームやロバート議事法が面白かった」など、思いのこもった言葉を聞きながら、自分自身も振り返らせていただきました。そして、発表の後は卒塾式として感謝状と記念品を渡させていただきました。会員 20 名

2. 拡大アカデミー委員会への協力

9月に開催した拡大アカデミー委員会の公開委員会後の懇親会に合わせ、第9回のアカデミー塾を開催しました。宴会場ではありましたが公開委員会で行った野球をテーマとした他己紹介を行い、普段では見られない姿を垣間見ることができ、会員相互のつながりを育みました。また、アカデミー塾を毎月開催することにより、オブザーバーの参加する機会を創出するとともに、JCに少しでも興味を抱いていただけるよう参加しやすい雰囲気をつくることで会員の拡大にもつなげました。

経費 _____ -円

事業方針を振り返り

越谷 JC アカデミー塾塾長として、若松での顔合わせに始まり、OB との交流、日本 JC セミナープログラムの実施、講師講演、他ロム交流等々、一年を通じて毎月趣向を変えつつアカデミー塾を開催させていただきました。始める前は不安でしたが、諸先輩方や今までご縁をいただいた方々の協力、そして LOM メンバーの多大なる協力のもと、無事に卒塾式まで終えることができました。

「青年会議所の理念や歴史を伝え、修練・奉仕・友情の三信条のもと、私たちの運動の目的の共有を図れるアカデミー塾」ということで開催させていただきましたが、アカデミー塾塾長としてメンバーに伝えることはもちろん、自分自身も基本に立ち返り、修練・奉仕・友情の三信条を体感しつつ楽しませていただきました。そして、先輩方や自分自身の知識や経験を少しでも残ったメンバーへと継承できる機会を与えていただき、越谷青年会議所の歴史と人のつながりを自分なりにつくらせていただきました。どこまで伝わったのか、どんな効果があったのか、すぐに結果は出ないかもしれませんが、この一年が後々有意義なものであったと感じていただけたら幸いです。

改めて「つながり」の中で生かされていると感じさせていただいたと共に、全てはメンバーの支えがあったからこそだと心から感謝いたします。一年間を通して、ご支援いただきありがとうございました。